

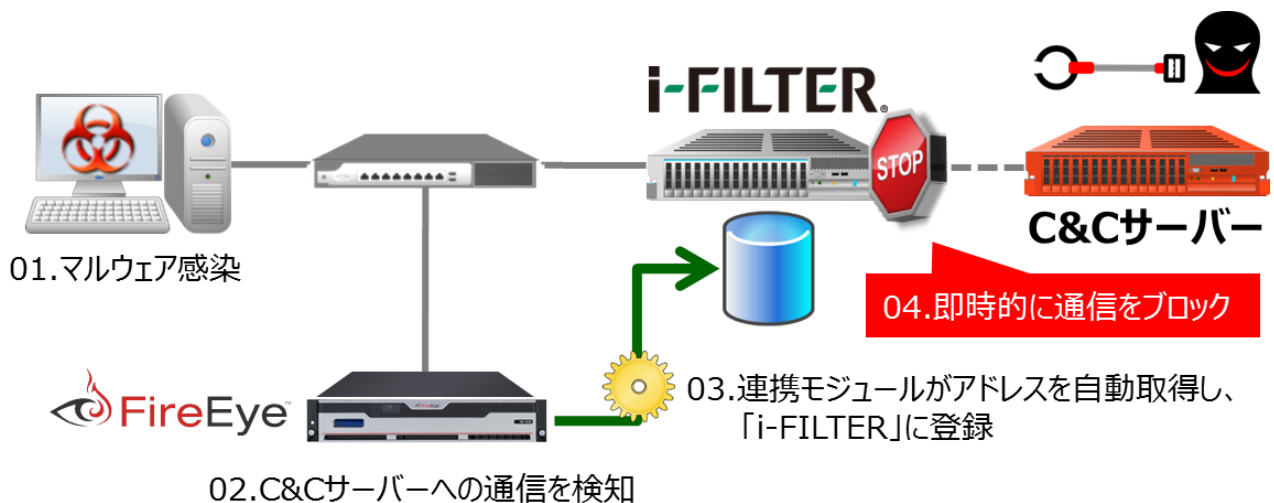
「i-FILTER®」、Web 上の未知の脅威対策として ファイア・アイとの連携オプションを 12 月中に提供開始 ～Web セキュリティ NX/CM シリーズとの連携で即時的な標的型攻撃対策が実現 本日から開催の第 4 回情報セキュリティ EXPO 秋で先行公開～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ、証券コード 2326)は、情報漏洩防止と内部統制を推進する企業・官公庁向け Web フィルタリングソフト「i-FILTER(アイフィルター)」において、高度なサイバー攻撃の対策製品・サービスで業界をリードするファイア・アイ株式会社(所在地:東京都千代田区、代表:茂木正之、本社所在地:米国カリフォルニア州ミルピタス、以下 FireEye)の Web セキュリティ NX/CM シリーズとの連携オプションの試用版を 12 月中に提供開始いたします。

ソフトウェアの脆弱性を攻撃するゼロデイ攻撃や機密情報を盗む目的で特定の企業や個人を狙い撃ちする標的型攻撃などの複合型の高度な脅威の増加に伴い、これらの脅威に対処できる次世代のセキュリティ対策が強く求められるようになっていきます。コンピューターウイルスなどの検知・識別に用いられる従来のシグネチャベースのセキュリティ対策は「既知の脅威」に対して有効ですが、今後発生するであろう「未知の脅威」に対しては無効です。

このような状況の中で、デジタルアーツは Web 上の「未知の脅威」に対する防御策で業界をリードする FireEye の Web セキュリティ NX/CM シリーズとの連携オプションを用意いたしました。FireEye の NX/CM シリーズは、単機能型や次世代型のファイアウォール(NGFW:Next Generation Firewall)、IPS、アンチウイルス、Web ゲートウェイでは検知できずすり抜けてしまう Web ベースの攻撃を防御するための脅威対策プラットフォーム(TPP)で、ゼロデイ攻撃や複数のプロトコルを使用した C&C サーバー(コマンド&コントロールサーバー:マルウェアに感染した後、攻撃者の指揮のもと、他のコンピューターへの指揮・制御の役割を担うサーバー)へのコールバック通信をリアルタイムで検知し、対応を可能にします。

この度の連携により、NX/CM シリーズが検知した C&C サーバーへの通信を、連携モジュールが自動で「i-FILTER」に登録するので、C&C サーバーへのコールバック通信を即時にブロックすることが可能になり、Web 上の複合型の高度な脅威による自社の機密情報の漏洩を阻止することが可能となります。



〈「i-FILTER」と FireEye の NX/CM シリーズ連携概要図〉

PRESS RELEASE

今回の連携オプションは、本日から3日間、幕張メッセで開催される第4回情報セキュリティEXPO 秋のFireEye 展示ブース内にて先行公開しておりますので、是非足をお運びください。尚、製品版は2015年1月以降に提供開始予定です。

デジタルアーツは、日本の企業・組織にとって今後ますます大きな脅威となる標的型攻撃における防御・対応ソリューションをより迅速に、広範囲にご提供し、安心してインターネットに接続できる環境を提供すべく、お客様の貴重なご意見を製品開発に活かし、更なる製品使用満足度向上を目指してまいります。

「i-FILTER」とFireEyeの連携オプションについてのティザーサイト: <http://www.daj.jp/bs/i-filter/fireeye/>

■ エンドースメント

今回のFireEye NX/CMシリーズとの連携オプションの提供開始にあたり、ソフトバンク・テクノロジー株式会社様より、以下のエンドースメントを頂いております。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 取締役 兼 常務執行役員 佐藤 光浩様

この度のデジタルアーツ株式会社「i-FILTER®」とFireEyeのNXプラットフォームの連携オプションがリリースされることを心から歓迎します。弊社は7月よりFireEyeと国内販売一次代理店契約を締結し、取扱いを開始しました。国内で多くの採用実績を持つ「i-FILTER」とNXプラットフォームが連携し、標的型攻撃対策をより強固に簡単に実現できることを、より一層多くのお客様に向けて訴求してまいります。

以上

■ 「i-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/i-filter/>

「i-FILTER」は、情報漏洩対策とWebの有効利用のための企業向けWebフィルタリングソフトです。国内におけるWebフィルタリングソフトのシェアNo.1を獲得しました(2014年7月 株式会社アイ・ティ・アール調べ)。業界最大級のWebフィルタリングデータベースと、特許を取得したフィルタリングテクノロジー「ZBRAIN」により、業務中の閲覧が不適切なWebサイトを高い精度で遮断します。また、Webメールの利用や掲示板の書き込みなどといった、Web経由の情報漏洩を防ぐとともに、その内容を記録・確認・保存することが可能なため、内部統制対策としても有効なソリューションです。「i-FILTER」は、すでに全国の企業・官公庁6,700団体以上、学校・教育機関28,000校以上に導入されています。(2014年3月末現在)

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初のWebフィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級のWebフィルタリングデータベースと、世界27の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇るWebフィルタリングソフトとして、家庭及び個人向け「i-フィルター」、企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を提供する他、企業向けとしてメールセキュリティソフト「m-FILTER」、メール誤送信防止ソリューション「m-FILTER MailAdviser」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター /i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

※ FinalCode は、株式会社アイキューエスの登録商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
